

ゆうゆう通信

平成27年8月15日発行 第16号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

人形劇フェスタ

四年目のゆうゆう公演



八月八日(土)にゆうゆうにて四度目となる人形劇フェスタの公演が行われました。天候の方は、例年通り全く雨の心配のいらない天気、猛暑の中での開催となりました。しかし、ゆうゆうは冷房が完備されており、おかげさまで来場者の方や利用者様も快適に公演を観ることができていました。(人が集まってくるにつれ、室内の温度がどんどん上昇していき、冷房の設定が追い付かないくらいでした。)

上演の内容は、昨年に続き二劇団の参加で、一劇団は人形劇団「おたまじゃくし」という三重県伊勢市のおばさま四人からなる劇団でした。タイトル「ともだちや」という劇で、友達はお金で買ったりするものではなく、かけがえのないもの、その大切さを伝えてくれるものでした。来場者の方の感想に「孫に友達って何って聞かれるのでちょうど伝えてくれて良かったです。」とありました。結成二十七年目の方々が飯田にも何年も来られているようで、りんごんも踊っていかれるとのことでした。

二劇団目は「すずきじゅく」という劇団で、人形劇団「夢知遊座(むちゆうぎ)」付属人形劇研究所鈴木塾を卒業した三名による結成五年目の方々でした。タイトル「しゅくだい」は、これも絵本を人形劇にアレンジしたものでした。「抱っこ」をテーマにしたもので、上の子どもは、弟・妹ができると甘えたくても甘えられないという切ない気持ちを上手に表現しているものでした。来場者の方の感想に「心暖まる人形劇でした。上の子にもっと手をかけてやらねばと思わされる話でした。」とありました。子ども達は

もちろん、親御さん達にも楽しんで頂けた内容だったのではないのでしょうか。二劇団ともに心暖まる、そして考えさせられる話で、スタッフで参加していた私も、つつい劇に吸い込まれてしまいました。

その他、劇と劇のつなぎの時間に「おたまじゃくし」の方が“手遊び”をして、その場を盛り上げてくださいました。一瞬で子ども達の心を捕まえ、楽しませていました。後から聞くと、以前保育士さんをされていたとのことで、ちよっとした時間でも人を楽しませられる、まさにエンターテイナーだと感心させられました。また、最後には“送り出し”といって、人形達が退場される来場者の方を見送ってくれて、子ども達と人形達に触れ合える時間が設けられ、子ども達も良い思い出になったと思います。

今回も例年と同様に劇団の方々の良い上演に恵まれ、一般の方、ゆうゆう利用者様、スタッフを合わせて一六〇名を超える過去最高の人数を記録し、盛況のうちに公演を終えることができました。ゆうゆうで公演を行うことにより、施設を知っていただく良い機会となりますし、施設の中にも入って頂く機会にもなり良い地域交流が図れるのではと考えます。利用者の方々の楽しみの一環として、ゆうゆうの行事としても、人形劇フェスタゆうゆう公演が今後も開催していくことができると感じました。



人形と一緒に記念撮影

二階 夏祭り

七月二十九日に二階の夏祭りを行いました。昼食を主食、バイキングとし、焼きそばやそうめん、サンドウィッチ等の中から好きなものを利用者さんを選んで食べて頂きました。ノンアルコールビール等の飲み物もあり、いつもと違う雰囲気を楽しまれました。

午後からは小学生のグループに桜花組の皆さんによるダンス、そして酔鼓の皆さんによる太鼓の演奏がありました。可愛らしい子どもたちのダンスと交流や、胸を打つ太鼓の音に涙を流す利用者様のお姿も見られました。また、午後おやつは職員手作りのゼリーで、面会にみえたご家族の方にも一緒に食べて頂きました。利用者様の笑顔をたくさん見られることのできる楽しい夏祭りになりました。



三階夏祭り (Aチーム)

三階Aチームの夏祭りが開催されました。夏祭りといえば浴衣、屋台からの美味しそうな匂いや、御神輿など賑やかな雰囲気を感じます。そんな雰囲気皆さんに味わって頂くとうと、御神輿作りをレクの一環で行いました。当日は、御神輿の披露しがてら三階、二階のフロアをきおいました。突然の御神輿の登場に、各フロアでも喜び方も多く、太鼓や笛の演出で一気にお祭りムードになりました。利用者様と、職員も浴衣を着て御神輿の後に続き賑やかに盛り上がりました。きおい終わるとユニットには、良い匂いが漂っており美味しい焼きそばと、お好み焼きを頂きました。

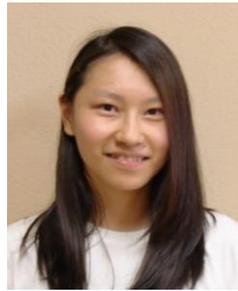


三階夏祭り (Bチーム)

去る七月二十四日、金曜日。土用の丑の日に合わせて3階さくら、すみれユニットの夏祭りが行われました。午前中は各ユニットに分かれて、輪投げとお菓子釣りを行いました。お菓子釣りは魚の絵をつけ魚に見立てて行いました。皆さん、いつもより多くお菓子が食べられたためか、お茶の時間にうれしそうに召し上がっていました。お昼は皆で一緒にうな井を食べました。午後はフラダンスショーがあり、皆さん、真剣に見入っておられました。十五時のお茶は利用者さんとたこ焼き器でコロコロホットケーキを作り、デコレーションをして食べました。皆さん、美味しいと言って召し上がっていただけました。少し多めに作ったためおかわりをしている人も何人かおられました。楽しい夏の日でした。



ゆうゆう新任職員紹介



栄養管理係(調理員)

林彩夏

勤め始めてからもうすぐ半年が経ちます。まだまだ不慣れなことも多いのですが、周りの方々に教えて頂きながら、一つ一つの仕事を覚えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。



介護(三階Bチーム)

大貫 香

四月から、三階すみれ、さくらユニットでお世話になっております。毎日ご飯が炊けるにおいがするユニットの中で、皆様と一緒に楽しい時間が過ごせるように努めて参りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



作業療法士(通所リハビリ)

福澤晃平

この度、ゆうゆうデイケアにてお世話になる作業療法士の福澤晃平と申します。デイケアと言うところでの勤務は初めてになるので、先輩職員の皆様や利用者の方々と共に一日を有意義に過ごせるようにこれからの仕事を励んで行こうと思ひます。これからよろしくお願ひいたします。



介護(三階Aチーム)

前田ちよ美

今年度7月より三階Bチームに勤務しております前田ちよ美です。以前は訪問介護の仕事をしていました。利用者様に、日々笑顔で過ごして頂けるようお手伝いが出来たらと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



高松診療所(看護師)

神崎 菊子

七月一日より、高松診療所に看護師として入職しました。以前、まだ上郷町だった頃に高松病院で働いた事もあり、どことなく懐かしさを感じております。私には、明るさと、元気パワーしかありませんが、よろしくお願ひします。

Welcome!! YOU YOU



今月のボランティアさん

七月三日、ボランティアでフラメンコのグループ、「レジェンダ・デ松川」の方が来所して下さいました。フラメンコの上演を観るのは、ゆうゆうでは初めてで利用者様や職員共々とても楽しみにこの日を待ちわびていました。ゆうゆう職員の中に「レジェデ松川」の一員がいるという事もあり、この好機に恵まれたという訳です。

靴を踏み鳴らすフラメンコのスタイルで専用の板が敷かれ、いつものデイルームが変化し、始まる前からドキドキワクワク感でいっぱい。変化する手拍子、パワフルな歌声、魅力的なギターに合わせて動と静を兼ね備えた情熱的な踊りと華麗な衣装に圧倒され、観る側も夢中！フラメンコでの掛け声は「オラー！」という解説も入り、手拍子や掛け声で観る側も参加し、あつという間の楽しいひとときでした。「あの衆はプロの人達だら」と利用者様が口々に言うほど素敵な上演だったと印象に残っているようでした。



介護ワンポイントアドバイス⑨

「夏場における食中毒について」

気温が高くなると心配になるのが食中毒！夏は細菌による食中毒が増える時期です。

体力のある方なら、おなかをこわす程度ですむかもしれませんが高齢者の方は体の抵抗力が弱くなっており特別な病気のある方もいる事から少量の菌でも食中毒になりやすく症状も重くなりがちです。食中毒を予防するためのポイントをあげてみました。

食中毒を防ぐ三原則

- 一、菌をつけない（手洗い）
- 二、菌を増やさない（低温保存）
- 三、菌をやっつける（加熱）

〈ポイント〉

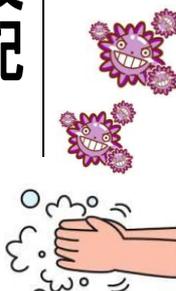
・**手洗い**・・・手洗いは石けんを使って三十秒！食事の前、調理中に生肉魚介類を触った後、トイレに行った後、ゴミ箱に触った後、ペットに触れた後など手を洗いましょう。
調理器具は良く洗い、乾燥（包丁まな板は洗った後、熱湯をかける）

・**火を通す**・・・生の肉、魚介類は十分火を通しましょう（鶏肉は中心部が白く変化するまでが、目安・焼き肉、すき焼きでは生肉をつかむ箸は別にする）

・**買い物**・・・生鮮食品は回転率の良い店で購入し、買物の順番として最後に購入し長時間の持ち歩きはやめましょう。

・**冷蔵庫**・・・食品を詰めすぎない7割程度（※高齢になると味覚臭覚が衰えがちですから食品の表示期限を参考に庫内を整理する）

・**残った食品の保存**・・・手を洗いきれいな箸できれいな容器へ。温めなおす時は十分加熱。汁物は沸騰させる。怪しい物は捨てる。（※宅配弁当は早めに食べる、食べきれないと思ったら箸を付ける前に取り分け、冷蔵庫へ。食べ残しは思い切って捨てる）など・・・
食中毒を日々意識して食中毒菌から身を守りましょう。



編集後記

暑い夏がやってきますが、みなさん熱中症対策は万全でしょうか？日頃から水分をこまめに補給したり、体温の上昇を抑える夏野菜を食べるなどの予防策も大切ですが、いったん頭痛がしたり、嘔吐する症状まで行くと、少しでも早く体温を下げなければいけません。頭痛・嘔吐となると、つい冷却剤をおでこに当てがちですが、より効果的なのは、「わき」「内もも」「首」などの血液のルート。体内を巡る血液の温度を下げることによって体全体の温度が下がるそうです。